

事業所名：グループホームこころ（のどか）

作成日：平成 25年 3月 12日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 |      |  |  |   |            |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 3    | <事業所の力を活かした地域貢献><br>地域や近所の方との交流が少なく、こちらからの関わりを持つことがあまりなかった。                        | 日常的な関わりを持ちながら、事業所がどのようなものなのかを知ってもらい、地域の一員としての役割を担っていくことができる。 | ①散歩の機会を増やし、日常的な交流を図る。<br>②地区の文化祭へ作品を出品する。<br>③避難訓練への参加を依頼する。                                | 12ヶ月       |
| 2        | 23   | <思いや意向の把握><br>日々変化する利用者の思いや意向を十分に把握できていないことがあり、興奮を助長させたり、意向に沿えないことがある。             | 利用者の思いや意向に沿った支援ができ、職員と一緒に生活を楽しむことができる。                       | 現在、2ヶ月に1回のケアカンファレンスを、毎月を増やし、全利用者の支援内容の検討を行う。  | 12ヶ月       |
| 3        | 27   | <個別の記録と実践への反映><br>個別記録に具体的な事実や工夫が記述されていないことがあり、情報共有にならない場合がある。また、介護計画に反映されないままになる。 | 全職員が個別記録への記述をしっかりと行った上で、介護計画への反映させていくことができる。                 | ①個別記録に具体的な事実や工夫をしっかりと記述するよう、意識掛けを行う。<br>②ケアカンファレンスで、個別記録やアセスメントシート基に支援内容を検討し、介護計画への反映させていく。 | 12ヶ月       |
| 4        | 40   | <食事を楽しむことができる支援><br>職員主体の献立、調理になってしまうことがあり、一緒に考え、作り、食べることができていない。                  | 利用者が食べたい物、望む食事を提供することができる。                                   | ①季節感のある献立を、利用者と一緒に考える。<br>②一緒に調理できる、環境をセッティングする。  | 12ヶ月       |
| 5        |      |  |  |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。